

「生産現場の問題解決」を開催

(独法) 高齢・障害・求職者支援機構委託事業である生産性向上支援訓練「生産現場の問題解決」を9月25日(水)、10月10日(木)、それぞれ18名参加のもと和歌山商工会議所において開催した。

本セミナーでは、2日の講座を通して生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識技能を習得する実践的内容となっている。

講師には、㈱日本人財研究所の松本哲夫氏をお迎えし、受講生へ「セミナーで勉強して知識を獲得しただけにとどまらず、実務で実践し、実績を残すことが大切である。」とメッセージを送った。

1日目は、生産管理の意義として、大量生産(見込み生産)と多品種少量生産(受注生産)の両立が必要と説明。管理の手法として、5ゲン主義(現場、

現実、現物、原理、原則)、なぜ5(なぜを繰り返す事により真の原因を追究する)、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)の徹底が重要であると講義した。

2日目はグループに分かれ、解析ソフトを用いて管理図の作成方法などを学んだ。ムダ取りの重要性について講義を受けた後、ムダ取りによる改善の体験学習を行った。グループに分かれ模擬ラインでの作業の中から、いかにムダを省けるかの考察が行われ、受講者たちは熱心に討議を重ねていた。



模擬ラインで作業の確認を行う受講生の様子